

輝く女と男

平成14年度青森県男女共同参画研修事業(注1)
訪問国…フランス・ドイツ・オランダ 参加者 秋田 美智子

平成15年度同事業
訪問国…ニュージーランド・オーストラリア 参加者 東村 静 美枝子

海外の男女共同参画を語り合いました



東 勤務先の社内報でも「男女共同参画」について

秋田 この経験を今後どのように生かしたいですか

秋田 参加した皆さん、『行って良かった』と言われています。行く前は、海外の施設を視察することがゴールのように錯覚しがちですが、行ってみると実はそこから新しいスタートが始まっていることに気づくんです。これがきっかけで、何かアクションを起こそうと思っているのには、一歩を踏み出さないと入って、過去の参加者の中にも結構いると思います。だから、すでに活動を始めた人も含めて研修後のサポートや活動の機会の提供など、フォローアップを行政にお願したい。そのようにしてお互いに協力しあってもっと魅力的な住みやす

秋田 完全に自分のものになるのを待つより、世の中日々変化しているの、学びながら誰かに伝えて、一緒に学んで行っていいと思いますよ。

秋田 家族のサポート・理解度は？

東 サポートはあります。ただ、必要に迫られて「仕方なく」といつの間にかも、出かけることを悪く言わないから、理解があるということですね。何もしなければこれまでどおり、何も変わらない。何かかきつけになると思います。



川村美枝子さん

東 同じ島国なのに日本とは違うなと思いました。開拓時には女性も子どもと一緒に働かなくては食べられないから、女性の意見も早くから取り入れられてきたようです。

秋田 訪問国のことを教えてください。



秋田美智子さん

川村 本当は「女性大学(注2)」に申し込むつもりだったけど、なぜか、いつのまにか行くことになっていて。間違って申し込んだんです。申し込み用の作文を書いている時に初めて男女共同参画について勉強しました。

東 前の参加者の話を聞いて、楽しそうだったので。男女共同参画って騒いでいるのは日本だけだと思ってたし、私は観光の目線で各国を見てきていいかな位に思ってた。でも、実際に行ってみたら学ぶこと、考えさせられることがたくさんあったなと思います。



東 静さん

秋田 この記事が載るようになったし、お手本となる上司がいます。会社も少しずつ変わってきいているのを感じますね。実は、昇進試験を最近受けたんですが、その時、本社の上司に『これからは男ばかりの会議に一人出席することになるかもしれないけど、大丈夫？』と聞かれました。『大丈夫です。男と女が同じやなく一社員として発言し行動するつもりです』と答えましたので、頑張ります。

秋田 北欧は、いわゆる「先進諸国」ということで引き合いに出されることも多いので、私の訪問する国もそうなのかな

川村 ボランティア精神もすごかったですね。特別かもわからないけど、30代の男性でボランティア歴20数年という方がいました。(オーハンカ市民助言局・ニュージーランド) 企業でも『多様性は可能性。いろいろな人がいれば考え方も違うので、むしろプラスになる』と考えていると言っていて、女性ももちろん、外国人従業員の雇用環境の整備も進んでいます。(レンドリースコーポレーション、BOCガス社・オーストラリア)

川村 行ってきた変わると思っています。フランスのパリでは「女性の権利情報センター」を訪問しました。そこで相談業務を担当しているかたの疲れが、この問題(女性に関わるすべての問題)の解決の難しさを象徴しているようで、この難しさは万国共通なのだと思います。

秋田 行ってきた変わると思っています。フランスのパリでは「女性の権利情報センター」を訪問しました。そこで相談業務を担当しているかたの疲れが、この問題(女性に関わるすべての問題)の解決の難しさを象徴しているようで、この難しさは万国共通なのだと思います。

注1「青森県男女共同参画研修事業」
国際的視野にたった男女共同参画会社づくりに貢献できるリーダーを要請するための海外派遣研修
15年度 9月13日〜21日
派遣先 ニュージーランド
オーストラリア
(青森県青少年・男女共同参画課の推進事業)

注2「あおもり女性大学」
女性の自立と社会参画を促進するため、専門的かつ幅広い学習の機会を提供し、あらゆる分野の政策方針決定に参画できる女性を養成する講座
学習期間 2年
(青森県男女共同参画センターの啓発・学習事業)

この記事が載るようになったし、お手本となる上司がいます。会社も少しずつ変わってきいているのを感じますね。実は、昇進試験を最近受けたんですが、その時、本社の上司に『これからは男ばかりの会議に一人出席することになるかもしれないけど、大丈夫？』と聞かれました。『大丈夫です。男と女が同じやなく一社員として発言し行動するつもりです』と答えましたので、頑張ります。

川村 行ってきた変わると思っています。フランスのパリでは「女性の権利情報センター」を訪問しました。そこで相談業務を担当しているかたの疲れが、この問題(女性に関わるすべての問題)の解決の難しさを象徴しているようで、この難しさは万国共通なのだと思います。

研修先の各国と日本の状況

「人間開発報告書2003」より

項	目	ニュージーランド	オーストラリア	日 本	オランダ	ドイツ	フランス
15歳以下の人口割合		22.8%	20.3%	14.5%	18.4%	15.4%	18.7%
65歳以上の人口割合		11.8%	12.4%	17.7%	13.7%	16.7%	16.1%
国会における女性の議席率		29.2%	26.5%	10.0%	33.3%	31.4%	11.7%
閣僚に占める女性の割合		44.0%	19.5%	5.7%	31.0%	35.7%	37.9%
議員・高官・管理職に占める女性の割合		38%	25%	9%	26%	27%	-
人間開発指数		20位	4位	9位	5位	18位	17位
ジェンダー開発指数		19位	4位	13位	7位	15位	17位
ジェンダーエンパワメント指数		12位	11位	44位	6位	8位	-
女性の参政権		1893年	1902年	1945年	1919年	1918年	1944年

……それぞれの項目の上位

人間開発指数 (HDI) 基本的な人間の能力がどこまで伸びたかを測るもので、基礎となる指数。具体的には平均寿命、教育水準 (成人識字率と就学率)、調整済み一人あたり国民所得を用いて算出している。

ジェンダー開発指数 (GDI) HDIと同じく基本的能力の達成度を測定するものであるが、その際、女性と男性の間で見られる不平等に注目したものである。

ジェンダーエンパワメント指数 (GEM) 女性が積極的に経済界や政治生活に参加し、意思決定に参加できるかどうかを計るもの。HDIが人間の能力の拡大に焦点を当てているのに対して、GEMはそのような能力を活用し、人生のあらゆる機会を活用できるかどうかを焦点を当てている。



我々のバスのドライバー(女性)…アデレードで



二人で後片付け中のホームステイ先のご夫婦

訪問国(ニュージーランド・オーストラリア)でのスナップ写真&男女共同参画的「お話」

- ☆ オーストラリアまでのカンタス航空の客室乗務員は、キャリア豊かそうな女性と男性。日本のように「若くて美しい女性」ではなかった。『男性の客室乗務員のほうが優しく笑顔タツプリだった』(男性団員の印象)
- ☆ シドニーのある会社を訪問。入り口の「受付・案内」は、若い男性だった。
- ☆ ホームステイ先のご夫婦&研修中に出会った先輩の方々のなんとオシャレなことか。きれいな色のシャツを着て、きれいに化粧して、家のあちこちをセンスよく飾って…。
- ☆ 聞いているこちらが照れてしまいそうなくらい、お互いをほめあうご夫婦。ごく自然に寄り添う…。うらやましい!